

令和8年度 福井県立若狭東高等学校スクール・ポリシー

スクール・ミッション【使命】

総合産業高校としての各学科の特色を活かした知識・技術の習得や、地元産業界・小中学校等と連携した実践的な教育活動を通して、時代に対応できる柔軟な思考力・突破力や、自らの人生を切り拓くために必要な力を養い、将来の嶺南地域を支える産業人材を育成する。

校訓

進取・敬愛・誠実

グラデュエーション・ポリシー【育てたい生徒像】

学校スローガン「新しい学び 新しい世界 新しい自分」のもと、ふるさと若狭を愛する心、地域社会の発展に貢献できる資質・能力を備えた人材の育成とともに、これからの予測が困難で多様化した時代に対応できる力の土台を身につけさせる。

具体的には、

- ①基礎的基本的な学力を充実させる。
- ②専門学科の学習を通して地域と連携し、地域の課題を主体的に発見し解決に取り組む態度を育成する。
- ③特別活動、学校行事を通して、違いを受け入れ他者と協働し、課題に取り組むことのできるコミュニケーション能力を育む。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

<生活創造科>

- ・1年次には、農業と家庭の基礎的な知識・技能を身につける。2年次より、農業の専門科目である「生物活用」や「農業経営」で農産物の栽培と活用について学ぶ。家庭の専門科目では、「食物」「保育」「福祉」「被服」分野について幅広く学び、家庭生活の質の向上と社会の発展を担う職業人としての知識・技能を身につける。講義と実験・実習を組み合わせを行い、実践的な知識・技能を育成する。
- ・調理実習や被服実習での製作活動、保育実習や介護体験など、他者や地域とかがかわる実践的な実習に主体的に取り組むことで、自ら課題を発見し解決する意欲と能力、他者と協働する能力を身につける。
- ・校外実習や課題研究で取り組んだ課題をパソコン等でまとめ発表することで、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につける。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

<地域創造科>

◆共通

- ・1年次では農業について基礎的な内容を幅広く学習し、2年次以降は生徒の興味・関心や希望進路等にあわせ、食農創造コースと地域開発コースに分かれて専門科目を学習する。
- ・専門科目の授業は講義と実験・実習を組み合わせを行い、実践的な知識・技術を身につける。学習活動をパソコン等でまとめて発表することで、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身につける。
- ・専門科目に関連する資格や検定の学習を通じて、専門的な知識の定着を図る。
- ・「課題研究」等で地域と連携したプロジェクトを行い、地域の課題に主体的に取り組む力や他者と協働する能力を育む。

◆食農創造コース

- ・野菜や草花等の植物の生産から食品加工・調理、販売まで行う「農業の6次産業化」に対応した内容について学習する。地域の農業生産や食品に関する学習を通じて、農業・食料関連産業を担う人材を育成する。

◆地域開発コース

- ・測量や農業土木施工の基礎・基本を学び、国家資格の合格を目指す。さらに、地域の環境についても学習する。専門科目の学習を通じて、地域開発に貢献できる知識・技術を身につけた技術者を育成する。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

<工業創造科>

- ・ものづくりや専門的知識・技術・技能の習得を目指し、主体的に自らが考え探究し解決することで、工業に関する課題を発見し、解決する能力を育成する。
 - ・講義と実習を組み合わせ、より実践的な能力を有した工業人を目指し、地域に貢献できる人材を育成する。
 - ・1年次には「工業技術基礎」「課題研究」「機械工作」「電気回路」といった工業の基礎的科目で機械と電気の基礎・基本を学習する。2年次からは機械と電気のいずれかのコースに分かれ、より高度な専門性の向上と定着を図る。3年次には探究テーマを選択し、それに伴う科目を学習することでより具体的な将来に向けてのスキルを身につける。
 - ・就職から進学まで幅広い進路実現を図るために工業科目をバランス良く履修する。また、各種検定から国家試験まで専門に関する多くの資格を取得できるようなカリキュラムの編成により、学びの定着を図る。
 - ・コースや探究のテーマを選択していく過程でより具体的な進路の検討と実現を目指す。
 - ・「工業技術基礎」「実習」「課題研究」等の科目や校外実習で他者と協働しながら、取り組みをまとめたり、発表したりすることでコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につける。
- また、これらの活動を通して、主体的に課題に取り組む態度を育成する。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

<ビジネス情報科>

- ・1年次には、すべての商業科目の基礎・基本となる「ビジネス基礎」、お金やものの出入りを記録し、お金の動きに伴う商品や借金、儲けの増減を表す技術である「簿記」、企業において情報を適切に扱うための資質能力を養う「情報処理」など基本的な科目を学ぶ。
- ・2年次からは進路希望や興味関心に応じ、「会計」「情報」「マーケティング」の3つ分野から、一つ選択する。
- ・3年次には、1・2年次の学びを活用し、「課題研究」や「総合実践」などの科目を学習する。これらの学習を通じ、ビジネスにおける課題解決策を探究することで、ビジネスに必要な専門的なスキルや思考力を身につける。また、模擬取引では、見積依頼から販売といった一連の流れについて、伝票の起票、帳簿記入、経営分析など実践的・体験的な学習を通じて、実務についての理解を深める。さらに選択科目に「英語」の授業を設けており、普通科と同程度の時間数を学習することで、大学進学にも対応する。

アドミッション・ポリシー【入学時に期待される生徒像】

1. 身につけた教養や専門的スキルを生かし、地域をより発展させたいと願う、高い社会貢献意識をもつ生徒
2. 互いの個性を認め合い、協力して目標を達成する力や、たくましく生きるための力を身につけたい生徒